

広報しろね

S·h·i·r·o·n·e

1999.4.15
No.544

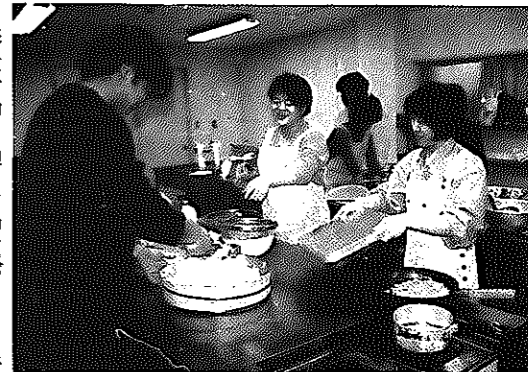


奉仕活動を通して仲間づくり

白根ローターアクトクラブ



3月14日 早朝から国道沿線の空き缶拾いを行いました



▲いつも楽しいクッキング教室

奉仕活動を通して仲間づくりを行っている白根ローターアクトクラブは、昭和47年に発足。現在、18歳から30歳までの15人が活動しています。会員の皆さんは「自分たちのできる範囲で協力し合っているから苦になりません。いろんな人たちと知り合うことができている楽しいですよ」と笑顔で話します。活動は、空き缶拾い、カープミラー清掃、募金活動への協力など。「初めは仕方ないと思いがちだったが、何度か参加しているうちにすがすがしさを感じるようになって、今は町をきれいにしたい気持ちでいっぱいです」と会長の渡辺元さんは話します。また、奉仕活動のほか、クッキング教室やスキー交流など、仲間づくりも積極的に取り組んでいます。クラブでは会員を随時募集しています。問い合わせは 長谷川雄大（☎372・0423）へ

※資源保護のため再生紙を使用しています。※紙上の記事・写真の無断転用を禁じます。

白根市国際交流 推進計画の概要

お知らせ
みんなのページ
イラスト倶楽部
サークル通信
あなたも風博士



白根の大風(その一)

風合戦が近づいてきました。今回は白根の大風の話です。端午の節句に百畳風を揚げる風どころは全国で三カ所、風合戦は八カ所を数えます。ただし、白根のように二十畳以上もある、大きな風で合戦をするところはほかにありません。合戦する風としては世界最大のものでした。

大風の特徴としては、まず軽く作られていることが挙げられます。柳のようになう細い竹骨でも揚がる風に、ほかの地域の人たちは驚くのです。素材の改良によって、一平方メートル当たりの荷重を一・二キロから〇・八キロに減量しました。日本の風の中でも

あなたも風博士

文・田村和雄
(しろね大風と歴史の館運営委員会委員長)



最軽量の風であるともいえます。また、左右が非対称に作られていることも異色の一つです。

白根の大風は川を挟んで相寄らなければ合戦は成立しません。そのため骨組み、鼻緒の調整等、独特の工夫がなされています。長年にわたる体験から生まれた知恵が、大風に結集しているのです。これからの改良に努めてほしいと願っています。

＝交通事故の発生件数＝

白根警察署管内	3月末現在	※()は前年同期
発生件数	61件	(44件)
死者数	0人	(0人)
負傷者数	82人	(52人)

◎4月4日の電鉄運行最終日に取材に行ってきました。◎電鉄最後の姿を写真に収めようとする人や思い出づくりに乗車する人など、白根駅は人でいっぱい。「まるで昭和30年代の混雑のようだ」と駅員さんは言っていました。◎電鉄は、66年間の歴史に幕を下ろしました。電鉄が走っていることが当たり前の感覚だったのに、もうその姿を見ることはできません。(さ)

編集ルーム